



11月21日 棚原老人クラブチャージャンピゅう地域大賞!



棚原老人クラブが沖縄県知事より、毎年県内1団体のみに授与されるチャージャンピゅう地域大賞を受賞しました。チャージャンピゅう地域大賞とは、健康長寿に資する活動を住民が一体となって行っている地域を表彰するものです。棚原老人クラブは、昭和36年から気軽に交流できる居場所づくりのために活動をスタートし、今年で59年目を迎えました。行事やサークル活動などを積極的に行い、元気な地域づくりに貢献しています。

新垣きよみ会長は、「先輩方のこれまでの活動が認められた。とても光栄で嬉しい。これからも楽しく活動を続けていきます」と笑顔を見せました。

11月15日 水道週間 作文・標語表彰式



令和元年度西原町水道週間にちなみ、西原浄水場や倉敷ダムを見学した町立小学校の4年生を対象として、水道に対する理解と関心を深め、限りある水資源の有効利用をアピールすることを目的とした作文・標語の表彰式が町役場議場で行われました。作文の部では大城寧音さん(西原東小)、標語の部では松田茜さん(西原南小)が最優秀賞を受賞しました。

最優秀標語

「大事につかってありがとう 水から聞こえる お礼の言葉」

11月21日・28日 白百合保育園・小川保育園 勤労感謝で役場を訪問

勤労感謝の日を前に、西原白百合保育園(知念恵理香園長)ゆり組の園児たちが町役場を訪問し、まちづくりへのお礼として元気いっぱいに歌を披露しました。元気いっぱいの歌声と感謝状を受け取った上間明町長は園児たちの可愛さに目を細め、「家族のために頑張っているお父さん、お母さんにもありがとうの言葉を伝えてください」と話しまし



た。サプライズでさわりんが登場すると園児たちは満面の笑みを見せていました。

また、小川保育園(豊里和枝園長)きりん組の園児も町役場を訪れ、誕生会などで保育園にお祝いに来てくれるさわりんに感謝を伝え、一緒にさわりんダンスを踊りました。



11月11日 ちょこっと得する介護の日!



11月11日の介護の日に合わせ、西原町町民交流センターにおいて「西原町介護の日フェア(町介護の日実行委員会・町地域包括支援センター主催)」が開催され、介護相談や介護用品の展示、介護食の試供品提供、認知症カフェの開催などが行われました。15日には実母・義母・義父と三度の介護を経験した女流講師田辺鶴瑛さんを講師に、「ふまじめ介護講談(社会福祉法人沖縄県社会福祉協議会主催)」が、さわふじ未来ホールで開催され多くの方が来場しました。ユーモラスな講談に会場は笑いに包まれました。

11月21日 地域のじょうと一な取り組みを学ぶ



第23回西原町社会福祉大会・第2回にしはら地域福祉実践シンポジウムがさわふじ未来ホールで開催され、多くの方が参加しました。シンポジウムでは町内4自治会と西原東中学校による発表があり、地域で実践されている先駆的な取組が報告されました。

西原台団地 … 自主防災組織の結成と防災カフェの展開
嘉手苺 …… 子ども目線で危険箇所の確認!安全マップ作り
平園 …… 災害時に備えて日頃から顔の見える関係作り
西原ハイツ自治会 … 買い物弱者のための買い物支援を展開
西原東中 …… 地域ぐるみで郷育する「かなまる会」の活動

10月3日 知っているようで、知らない御願



稲福政斉氏(沖縄大学・沖縄国際大学非常勤講師)による講演会「御願の道具と供えもの」が、西原町立図書館で開催されました。沖縄各地の伝統的なしきたりや行事、祭具、供えものについてのユーモアたっぷりな楽しい講演に、参加者からは「ヒヌカン、ウコール、ヒラウコーの意味を知ることができた。もっと詳しく本を読みたいです」などの感想がありました。
※稲福氏の著書は、西原町立図書館で借りることができます。

11月9日 西原台団地自治会 防災訓練



地域の防災力を高めようと、西原台団地自治会による防災訓練が実施され住民55名が参加しました。巨大地震により家屋が倒壊し、負傷者が出たとの想定で行われた避難訓練では、傾斜地が多く高齢者も多いことから、避難行動要支援者をリヤカーで搬送するなど支援体制の確認が行われました。
さらに、土砂災害警戒区域に指定されていることもあり、道路が寸断された場合を想定して、複数の避難経路の確認をしました。その後防災士の指導のもと、子供から大人まで楽しみながら参加でき、災害時対応能力を養う「クロスロードゲーム」が行われ、活発な意見を通して住民の防災意識がさらに高まりました。